

2022 年度（令和 4 年度）

学校運営協議会アンケート結果

毎年井荻小学校学校運営協議会として全保護者の皆さん対象のアンケート調査を実施しています。過去 2020 年度、2021 年度に続き、2023 年 1 月に 3 回目のアンケート調査を実施しました。308 件（全家庭数 389 の約 79%）という多くの回答が寄せられました。保護者の皆さんのご協力に深く感謝いたします。3 月発行の学校運営協議会便りに既に今回のアンケート結果を短く報告しましたが、ここでさらに詳しく報告をします。

アンケートの設問 1 と設問 2 は 3 回のアンケート調査で同一です。設問 1 は地域運営学校の認知度や学校からの情報発信に関連した 4 項目の質問です。設問 2 は学校運営協議会の議題 13 項目の中から特に関心を持たれる 3 項目を選択するものです。

今回アンケートでは二つの新しい試みをしました。一つは、これまで紙ベースのみの回答集約を Web 回答と回答用紙による回答と 2 本立てにしたことです。多くの方が Web で回答してくださいました。もうひとつは、これまで自由記述欄を漠然と自由な内容で回答いただくとしていたのを、（ア）今まで通りの自由な内容と（イ）「自分の良さや存在を肯定的に認め、自信を持って行動できる児童を育てる教育」について記入していただくようお願いしました。次のような理由から（イ）を設定しました。杉並区が実施した児童に対する学習・生活についての意識調査で「今の自分に自信がある」、「今の自分に満足している」、「今の自分を「好き」と言える」といった項目について本校の児童は杉並区の平均より低い肯定率になっています。激しく変化する社会において自分らしく豊かにたくましく生きていくため基盤となる大切なことととらえ、運営協議会でも重点的に取り組みたいテーマだからです。

設問 1 の結果

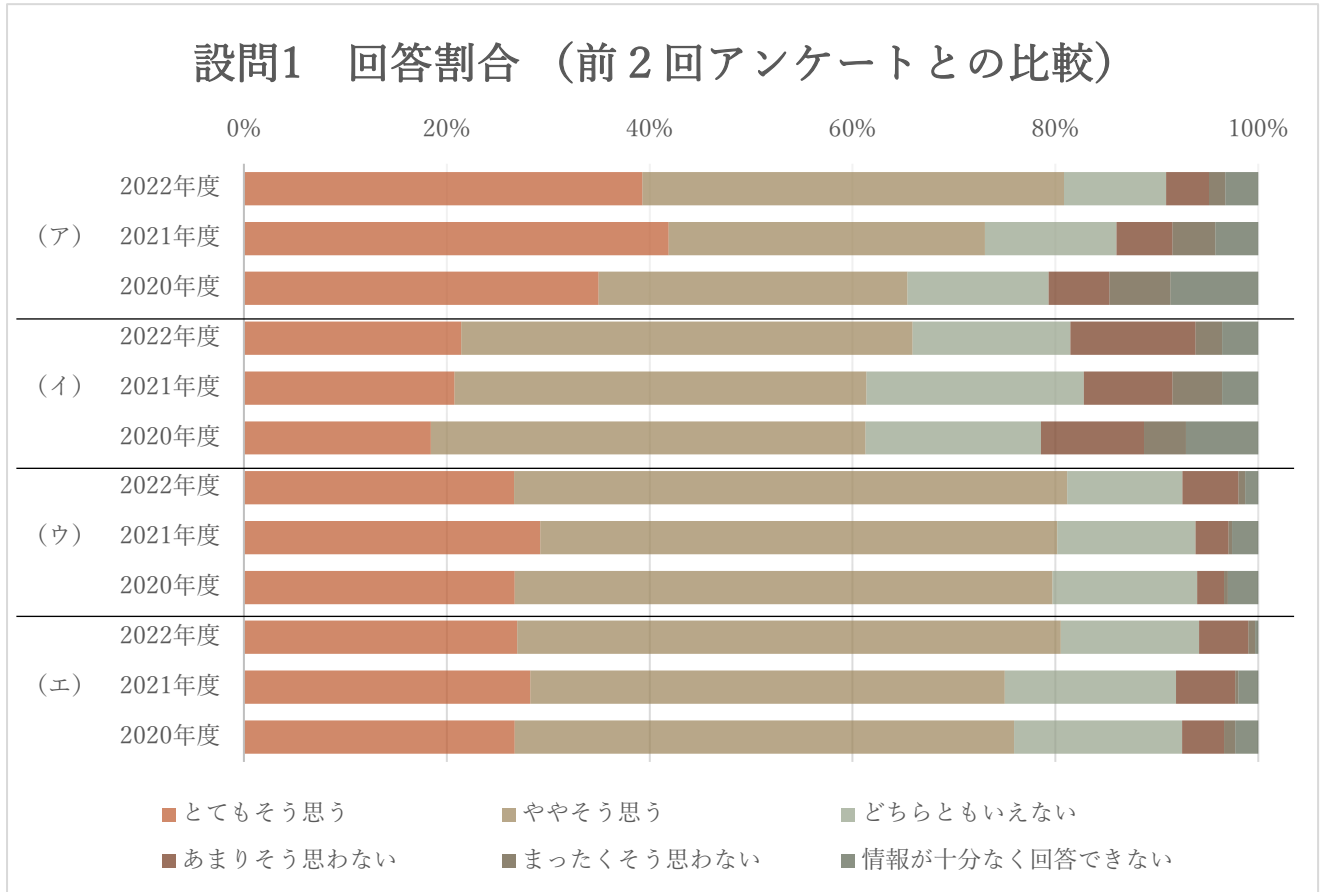
設問 1 は以下 4 項目の質問に対して、6 つの選択肢（とてもそう思う、ややそう思う、どちらともいえない、あまりそう思わない、まったくそう思わない、情報が十分なく回答できない）から回答してもらいました。

（ア）井荻小学校が地域運営学校であることを知っている。

（イ）学校運営協議会便りや学校からの情報で、地域運営学校を支える学校運営協議会の活動を知っている。

(ウ) 井萩小学校の子どもの教育に、学校、家庭、地域が各々の役割を適切に果たしている。

(エ) 学校から保護者へ適切に情報発信されている。



グラフが今回の集計結果です。過去2回の調査結果と比べて、学校運営協議会の認知度と情報発信に関しては少しずつ前進していますが、一層の前進が課題ととらえています。

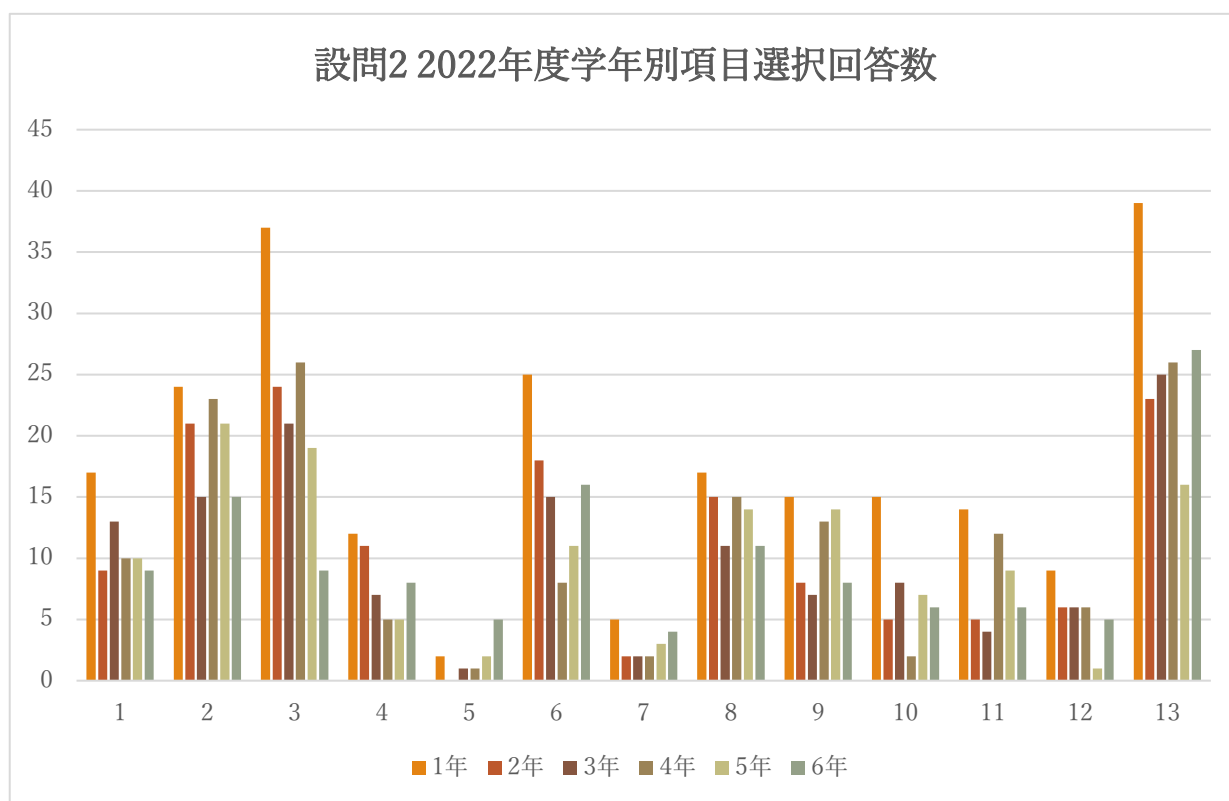
設問2の結果

設問2では学校運営協議会の以下13議題項目から特に関心を持たれる3項目を選んでもらいました。

- 1 校長の学校経営計画（教育目標や学校経営方針）について検討し承認する。
- 2 校長の学校運営計画（教育目標を達成するための具体的な指導内容や組織運営等）について検討し承認する。
- 3 学校施設・設備の整備状況の説明を受け、安全点検を実施し方針を協議する。
- 4 学校予算についての説明に基づいて協議する。
- 5 PTAとの連携を図るためにPTA役員との懇談会を実施する。
- 6 井萩小学校の教育の現状をより深く理解するため、教職員との懇談会を実施する。
- 7 管理職や教員の任用に関して意見を述べる。

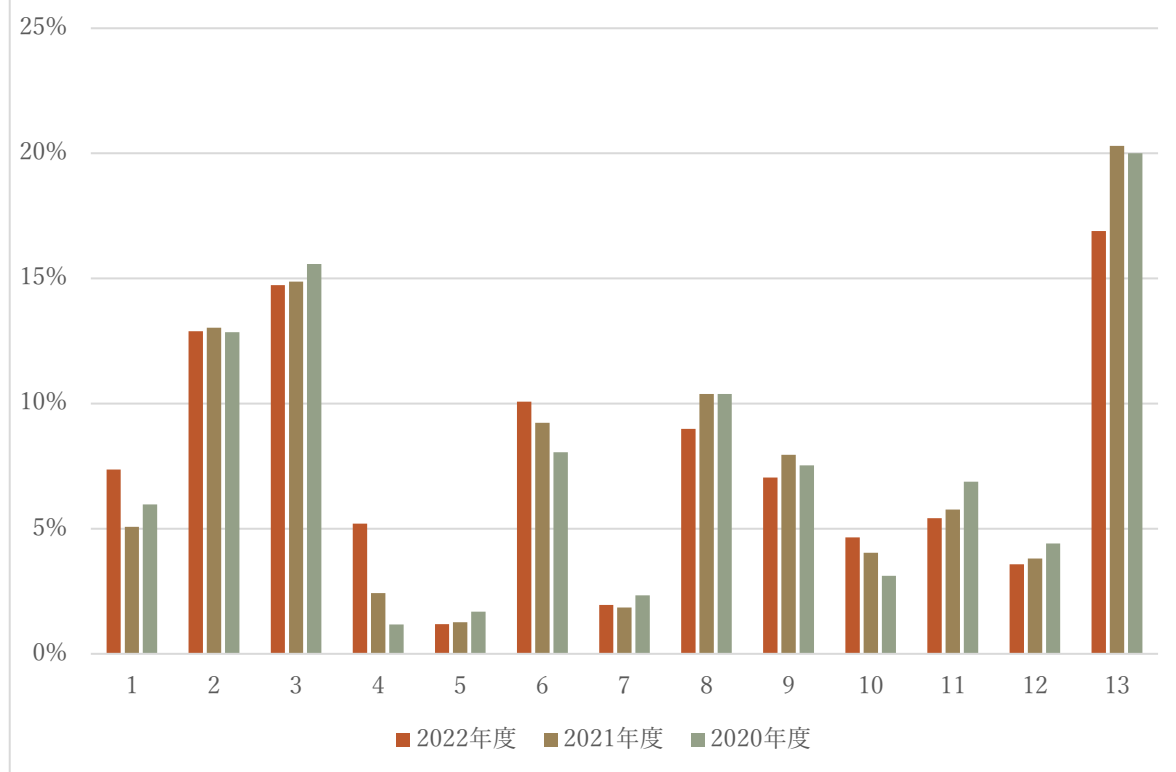
- 8 「学力調査」の結果を確認し、学力向上の改善方針を協議する。
- 9 「体力調査」の結果を確認し、健康や体力増進、保健等について改善方針を協議する。
- 10 杉並区教育委員会「教育調査」（対象：保護者、児童、教職員）アンケートの集計結果を協議する。
- 11 次年度の「教育課程」案（教育目標、指導の重点、授業日数・時間数、年間行事予定など）について、検討し承認する。
- 12 井荻小学校の教職員が実施する「学校評価」を基に意見交換する。
- 13 学級経営や生活指導の現状及び各学級の児童の様子について意見交換する。

最初に学年毎の結果をまとめたグラフを下に示します。項目ごとに選んで下さった人数で数えているため、アンケート回答数の多かった1年のグラフが高くなっています。学年によって強く関心を持たれる項目の違いはあるようです。



次に学校全体で選ばれた項目の様子がわかるグラフを下に示します。これは回答数でなく割合（その項目の回答数／全項目の回答数）にし、過去2回の調査結果とも比較しています。3回共通して、回答割合が多い順に13, 3, 2という結果は変わりませんでした。この3項目に保護者の皆さんが強い関心を持たれていることがわかります。一方で、全ての項目に一定の回答割合があり、関心の多様性も指摘できます。

設問2 項目選択回答割合（年度別）



自由記述の内容

今回のアンケートでは、「学校または学校運営協議会に、（ア）自由なテーマ または（イ）「自分の良さや存在を肯定的に認め、自信を持って行動できる生徒を育てる教育」というテーマについて、どちらかひとつあるいは両方に関してご意見、ご希望を自由記述欄にお書きください。」というお願いをしました。過去2回は（ア）だけでした。自由記述回答は2020年度42件、2021年度60件でしたが、今回は倍増の114名もの保護者の方が（ア）、（イ）のどちらかまたは両方にご意見を記述してくださいました。特に、1、2年生の保護者の方の回答が他の学年よりかなり多かくありました。記述回答の内容も、過去の回答に比べて、保護者の方の率直な、あるいは問題を掘り下げてのご意見でした。今回は本当に多数の貴重なご意見が寄せられたと認識しています。回答をお寄せ下さった皆さんに感謝いたします。

自由回答欄の記述は実に多岐に渡りまいた。ここでは（ア）と（イ）に寄せられた内容を全部ではありませんがご紹介します。

（ア）について

- ◇ コロナ禍の制約の下での教育環境に関する懸念と今後日常を取り戻すことへの期待
- ◇ 落ち着かない学級存在の指摘
- ◇ 多様性の理解を深める教育を希望
- ◇ 現状より多くの個人面談を希望

- ◇ ICTの一層の活用
- ◇ 運動・外遊びのより多くの機会を希望
- ◇ 個々の生徒にあった宿題や自由研究
- ◇ いろいろな面での教員負担増から教育の質低下の懸念
- ◇ 学校支援本部や地域の支援に感謝

(イ) について

- ◇ 自己肯定感を育む教育に関して関心と期待が多数
- ◇ 自己肯定感は同時に他者を認めることと表裏一体であるとの認識
- ◇ 一方でそれと真逆な指導（児童を否定する指導）が行われているのではという指摘
- ◇ 自己肯定感を育むための親のかかわり方を学びたいという希望
- ◇ 学校、家庭そして地域が一致して取り組むことの必要性
- ◇ この面での学校の具体的教育・指導方針明示を希望

以上